

福島大学附属図書館報	No.43 2009.10.1 発行
書 燈	〒960-1293 福島市金谷川1番地 TEL (024)548-8087 <a href="http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/">http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/</a> 携帯電話版 <a href="http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/i.htm">http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/i.htm</a>
福島大学附属図書館	

## 夏の図書館

共生システム理工学類 石田 葉月

定期試験も一段落すると、図書館はいつもの静けさを取り戻します。

八月はどこか遠くに行きたい気分になるけれど、夏の一日を、あえて図書館で静かに過ごすのも悪くありません。

ふと本から目をそらし、窓の外を眺めると、夏の太陽を浴びてきらきらと芝生が輝いています。

・・・本を持って芝生の上に行ってみようかな。

いつも館内から眺めている芝生。ここから見上げる図書館の姿は、どこか不思議な感じがします。

そよ風が気持ちいい。小さな木陰の下で、しばらく読書してみよう。とても贅沢な時間です。こういう小さな夏休みが、実は一番楽しかったりします。

でも、やっぱり夏ですから、すぐに汗がにじみ出てきます。今度来るときは、帽子をかぶってこよう。それから、小さなレジャーシートもいるかな。あ、そうそう、お菓子とジュースも持ってこよう。



(2)



## 思い出の一冊 『アメリカの文学』

行政政策学類 照沼 かほる

大学生の頃を思い出す一冊・・・と思いを廻らせ、最初に浮かんだのがこの『アメリカの文学』、味気ないタイトル（それに表紙も）ですが、とても味のある内容の本です。

私が大学生の頃は、英語の勉強をしたい人が行く学部といえば、「文学部」が主流でしたが、特に「文学少女」でもなかった私は、英語を使って世界で働きたいという野望(?)を胸に、外交官(!)を目指して外国語学部に入りました。ところが、大学の授業で一番私が惹きつけられたのは、意外にも「アメリカ文学」でした。

私のいた学科には、1・2年次に各々6つある専門科目を1つでも落とすと、もう1年やり直さねばならないという恐ろしい制度があったので、どの授業も皆真剣でしたが、中でも特に評価が厳しいとされていた文学の授業では、毎回教室に緊張感が漂っていました。

そんな1年次の米文学の担当だったのが、この本の著者のお一人、志村正雄先生でした。噂通り厳しい授業でしたが、先生の選ぶ作品とその解説がどれも魅力的で、成績は残念ながら悲惨だったものの、アメリカ文学に対する興味は私の中で一番になったのでした。2年次には志村先生の米文学史を、3年次には米文学演習を受講し、(外交官になるという野望もすっかり消え) 4年次には先生の指導のもと卒論を書くに至り・・・英語学科では卒論は必修ではなく、主に大学院進学する人が書くものという暗黙の了解があって(後から知ったのですが)、気づけば、卒論仲間とともに研究の道を歩むことになっていました。

『アメリカの文学』は、志村先生ファン(私)の

一押しの一冊であるとともに、文学なるものを論じることの愉しみを教えてくれた最初の本でもあります。

あとがきによれば、本書は八木敏雄先生と志村先生が「NHK ラジオ『続基礎英語』講座テキストの付録として連載したアメリカ文学の話がもとになって」いて、中学生から一般人まで幅広い層を読者に想定しているとのこと。実際、どの項目もわかりやすい文章で書かれていて、各テーマ・作品・人物について丁寧に解説・解釈がされています。

各項目の選ばれ方も絶妙です。アメリカ文学にあまりなじみのない読者にとっては、アメリカ文学の

多様性や広がりを知るきっかけとなるでしょうし、勉強を始めた人には、そうきたか!という切り口が紹介されているのを発見して興味をそえられるでしょう。

「一押し」であるもう1つの理由は、そのわかりやすさです。やさしい文章で核心をつく——難しいこ

とを難しく書くよりも、簡潔に書くことがいかに難しいか、論文を読む・書く際に、時に思い出すことですが、なかなか実践できない者にとっては、文章のお手本にもなる一冊です。

学生時代は、時間的にも気持ちの上でも、たっぷり読書ができる時期だと思います。在学中にはなかなかそのありがたさがわかりにくいかもしれませんが、皆さんには是非その特権を活用して、私にとっての『アメリカの文学』のような、大学での勉強の思い出となる、あるいは自分の道を指し示してくれるような本を、大学生活の中で見つけてほしいと思います。



### 『アメリカの文学』

南雲堂 1983.5

八木敏雄, 志村正雄著

請求記号: 930.2/Y15a

## 学びのナビ

### コーナー利用のススメ

総合教育研究センター 板橋 孝幸

シラバスコーナーの奥に、今年から「学びのナビ」コーナーが設置されたことをご存じでしょうか。レポートや論文の書き方・ノートの取り方・プレゼンテーションや資料収集の方法・クリティカルシンキング・KJ法・マインドマップといった学習スキル、フィールドワーク、ボランティア活動など、よりよい学生生活を送るための手引きとなる図書を集めて、コーナーを作りました。100冊ほど揃えています。

新入生は、高校と大学での学びの違いに戸惑うことも多いでしょう。各授業でレポート課題が出されてもどうやって書けばいいのかわからない、発表担当になってどのようにレジュメを準備しなければならないのかと困ることもあるのではないのでしょうか。3年生・4年生では、卒業論文作成のためにどのような準備すればいいのか悩んでしまうという方もいるでしょう。そのような時に、手助けとなるような図書コーナーを作ろうということが設置の趣旨でした。

『学びのナビ』については、聞いたことがあるでしょうか。本学の教員・職員・学生が協力して作成した学習ガイドブックです。2年前に試作品、昨年度末に2009年版を作成して、今年度は新入生全員に配っています。2年生以上の学生には、各授業・ゼミ担当教員が使用する場合、配っているかもしれません。持っていない方は、S棟2階の教務支援グループに置いてありますので、いつでももらうことができます。『学びのナビ』は、共通教育総合科目「大学で学ぶ」、人間発達文化学類教職科目「教職入門」、一部の「教養演習」等の授業用テキストとして使われています。この『学びのナビ』には、学生のみなさんが「大学生らしい学び」を実現できるよう参考になることをたくさん盛り込みました。付録として、図書館職員の協力により、情報収集のための図書館利用法についても掲載しています。

このコーナーの紹介は、『学びのナビ』の表紙の裏にも記されています。そこには、『学びのナビ』に書かれているような内容について相談できる窓口

の案内も掲載されています。学生のみなさんが学習に関わることで困った時には、「学びのナビ」コーナーや相談窓口をぜひ活用してみてください。ただし、コーナーにある全ての図書が誰にでも推薦できるものというわけではありません。例えば、ややスキル偏重と思われる図書もあります。スキルを向上しさえすれば大学での学びが深まるというわけではないので、自分なりに必要なものをよりよく選択してもらえればと思います。

『学びのナビ』については、今年6月に首都大学東京でおこなわれた大学教育学会で発表したところ、全国各地の大学教職員から多くの問い合わせがありました。『学びのナビ』のような学習ガイドブックの作成やそれに連動した図書コーナーの設置は、多くの大学で取り組んでみたいと思う教育改善のようです。

本学では、学生向け学習支援だけでなく、教職員向けにも教育改善支援の取組を推進しています。「学びのナビ」コーナーの下段には、教職員向けに授業・教育改善の図書コーナーも設置しました。近年の大学教育政策の動向、海外事例との比較、カリキュラム編成、教授法、教材開発の方法等に関する図書を100冊ほど揃えています。

従来、授業改善という狭い意味で捉えられてきたFD (Faculty Development) だけではなく、大学教育全体に視野を広げて、よりよい教育改善の取組に寄与できるような観点から、さまざまな図書を選定しました。よりよい授業の構築、学生支援、大学教育改革のために活用してもらえれば幸いです。







## 学内教員著作寄贈図書



### 『学校臨床の現場から』

SEEDS出版  
2009.4  
生島浩著

2005年10月から2009年3月までの3年半にわたり、朝日新聞福島版に連載していたものをまとめ、挿絵を描いてくれた地元の出版社から刊行した。目次からいくつか見出しを紹介すると、「友だちの悪口」親は禁物／「付き合い下手」も特性／教室、いつから苦行の場に／殺意は正確につかめ

るか／非行少年の家族教室を／「耐容力」、身につけたい／など124回の連載記事と「私の非行臨床論」が付け加わった構成となっている。非行・犯罪臨床と家族臨床を講じる学校臨床心理専攻の教員として、そして、中学・高校のスクールカウンセラーとしての日々の実践報告である。大学院を修了し、現在は、学校、病院、警察、少年鑑別所、少年院、児童相談所などで専門職に就いているゼミ生たちへの事例指導もネタもとになっている。非行・犯罪性や障害を抱え、社会的リスクが高いと言われる人々を排除する動きが強まる中で、彼らの立ち直り・リカバリーを地域で支援する必要性が本書の主題である。



### 『抵抗と協働の野生動物保護』

昭和堂 2009.2  
西崎伸子著

アフリカのイメージは、と聞かれれば多くの人が「貧困」「飢餓」「内戦」と答えるでしょう。数少ないポジティブなイメージとしてアフリカゾウやキリンに代表される「野生動物の楽園」があります。多くのアフリカ諸国にとって野生動物は、外貨獲得のための「観光資源」であったり、その希少

性から地球規模の保護活動の対象となったりします。

では、地元暮らしの人々にとって、野生動物はどのような存在なのでしょう。本書は、野生動物保護を「地域環境問題」として捉え直しつつ、延べ4年間のフィールドワークにもとづいてアフリカの野生動物保護の現状を明らかにしたうえで、野生動物を介した人と人との関係のあり方を提示したものです。保護とはいえ、国立公園に代表される自然保護区は国家による自然資源管理を進める一方で、地域住民が築いてきた生活文化を切り捨ててきました。そのような保護のあり方に対する人々の「抵抗と協働」の歴史・現実・展望をご一読いただければ幸いです。



### 『現代社会を社会心理学で読む』

ナカニシヤ出版 2009.3  
永田良昭、飛田操編

本書は、現代に生きるわれわれ自身が、社会心理学の研究者という視点から今日の社会に何を見ているかを“ことば”にしてみようとしたものである。本書の執筆者は、すべて社会心理学者としてのアイデンティティを有しており、すべての章が、社会心理学の研究者として現代社会にどのような問題

意識をもつかを見つめつつ、それを研究課題として昇華させ、方法的な反省を含めながら示そうとしている。ここで、われわれが何を、どのような方法で解き明かそうとするのか、あるいはどのように解き明かしたとき納得するかという点で、実はかなり多様な考え方があることを知っていただければいい。

読者は、本書のなかで、みかけ上は別の問題を論じている異なる章が、実は基本的には共通するテーマを別の視点から論じていると思う場合もあるに違いない。それらの論を総合することで、さらに大きな広がりのあるテーマへの展開が示唆されるかもしれない。ぜひ、知的興奮を味わっていただきたい。

こんなものがあったのか!

## 『紅一点論』

人間発達文化研究科 1年 佐藤 健

「こんなものがあったのか!」の記事を書くことになった私は、まず普段利用している専門研究分野の本は敢えて除外しようと考えました。勿論自分の分野でも「意外」な本、多くの方々の目に触れて欲しいと思う本はあります。しかし、きっとそれらの本について書こうとしたら、思い入れによる補正がかかりすぎて真っ当な紹介ができない気がしたのです。そんなことをぼやきながらカウンター後ろにある返却台を眺めていたとき、この本が目にとまりました。「紅一点論」というタイトルに少なからずインスピレーションが働き、ぱらぱらと中身を眺めてみると、なかなか面白そう! 研究とは異なった趣の本にも久しぶりに触れたかったというのもあり、ひとまず読んでみることにしました。

この本のサブタイトルは、「アニメ・特撮・伝記のヒロイン像」です。ここに惹かれた方々には、まず間違いなく一読をお勧めできると思います。

ああ、ちょっと待って下さい、「アニメなんか興味ない」って方々も、もう少しだけ話を聞いて下さい。そんな方々もたくさんいらっしゃるというのは承知の上です。しかし、自分の子どもの頃を思い返してみてください。学校が終わって家に帰ってきて、すぐ空き地で野球…小学校時代はそんなハツラツとした日々ばかりだったのでしょうか。きっと、テレビの中のキャラクターやロボット、魔法に夢中になっていた時期もあったと思います。この本で取り上げられている作品は、(書かれた当時の状況もあったでしょうが) そんな私たちがまだ少年の心に肩まで浸かっていた頃のものも多く、

誰もが知っているものばかりです。『ドラえもん』などその最たる例でしょう。

それに加え、私たちが小学校や中学校時代、読書感想文を書く為に読んだであろう「伝記」についても、この本では取り上げられています。

したがってこの本は、誰もが経験した「子ども時代」に深く関連したテーマ設定がなされているといえます。そのため、現在大人になった・なりつつある多くの方々に楽しんで頂けると思いました。

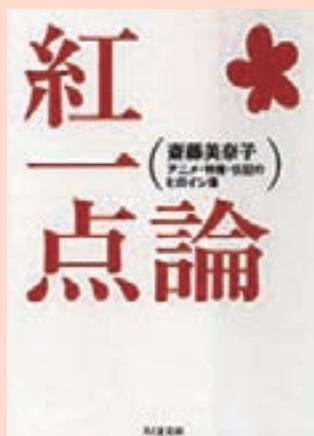
著者は、その「男女比」を切り口に、フェミニズムでもアンチフェミニズムでもない立場から、独特の語調で1970～90年代の「子ども向け(を

中心とした)アニメ」や、多くの「伝記」をばっさばっさと切っていきます。

一読して私が印象に残ったのは、前半で語られる、これまでである種「当たり前」と感じていた社会における男女構成比についての「一解釈」(これが大事)です。軽い気持ちでさくっと

### 『紅一点論: アニメ・特撮・ 伝記のヒロイン像』

(ちくま文庫)  
筑摩書房 2001.9  
斎藤美奈子著  
請求記号:367.2/Sa25k



読むことができ、これまでの自分になかった視点に不覚にも目からウロコが落ちました。

もしちょっとでも「読んでみたいな」と感じましたら、手にとってみてください。そしてまず巻末にあります姫野カオルコさんによる解説から読んで頂けたら、ただ読むより10倍は面白く読めると思います。



書燈の編集者から「福島大学学術機関リポジトリ」の取り組みについて紹介して欲しい、との依頼がありました。「福島大学学術機関リポジトリ」とはやや厳めしい名前である上に、英語のリポジトリ(repository)とは、保管庫、博物館、知識の宝庫という意味に当たりますが、日常的にそう馴染みのある用語ではありません。そこで、他大学もそうしているように、親しみを込めた愛称を付けることにしました。それが、“FUKURO”という名前です。附属図書館では福島大学学術機関リポジトリの愛称を公募し、FUKushima University RepOsitoryの大文字部分をつなぎ合わせたFUKUROを選定しました。フクロウが棲む、知の森をイメージしたものであります。ちなみに、会社のマスコットにこの「ミネルヴァ(ローマ神話における知恵と工芸を司る女神)のふくろう」を用いているミネルヴァ書房という学術専門書の出版社がありますが、ヘーゲルの『法哲学』の序文にある「せまりくる黄昏れをまって、はじめて飛び立つミネルヴァのふくろう」という言葉から採られていると聞いております。

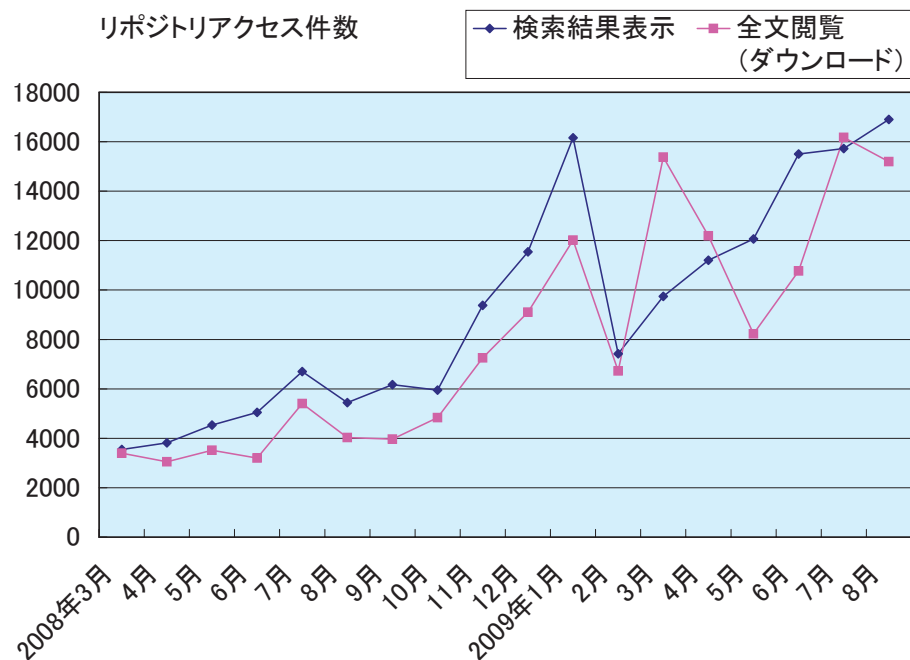
「福島大学学術機関リポジトリ」へのコンテンツ登録件数の推移を辿ってみますと、平成19年度末の件数は532件、平成20年度末のそれは1390件という具合に大幅増加し、今年度も順調に登録が進んで、21年度末には3000件を上る見通しにあります。

登録にあたっては著作権などの問題が発生することから、それをクリアするための諸手続きの作業が必要になりました。著者本人の許諾はもちろん、スムーズなリポジトリ登録を進めるために

は、紀要など学術論文誌を掲載・発行する組織からの協力を取り付けなければなりません。そのためには、紀要など学術論文誌を掲載・発行する組織の規定改正が必要でした。紀要などの学内刊行物7誌のうち、6誌についてはすでにリポジトリ登録の規定改正が済んでおり、残りの1誌も手続きが進行中で、本年度中に諸手続きはすべて完了する予定です。このように、個人や諸組織の協力の下に、順調にリポジトリ登録が進んできており、改めてこの紙面をお借りして多大なご協力に御礼を申し上げる次第です。

さらには、教員自身によるwebからのコンテンツの登録も可能となる道が開かれました。たとえば、然るべき論文が学術誌に掲載されるまでには一般に1、2年という長い時間を必要としますが、そのためディスカッション・ペーパーというものを配布する形で関係者に論文を公表し、意見をうかがう機会を設けるとともに、学術論文の発表としての先鞭を付けておくことができる制度があります。学術機関リポジトリはこうした役割も担ってくれるものと考えられます。なお、図書館側としては最終版の著者原稿としての更新・登

リポジトリアクセス件数





録をお願いしたいと思っています。

また、附属図書館では広報活動にも力を入れています。「福島大学学術機関リポジトリ」のパンフレットを本学職員はもとより、県内の大学や図書館、小中高や特別支援学校の現職教員に配布してPR活動を行ってきております。

ところで、多くの皆さんにとっては、いったいどれだけのアクセス数があるかに関心があるものと思われる。そこで、最近のアクセスに関する統計をご紹介します。図1に示すように、2008年の学術機関リポジトリのスタート時点においては、登録件数も小さかったことから、月当たりの簡略レコード（タイトルおよび著者名が表示されている）の検出件数は約4000件、月当たりダウンロード件数も約3000件に留まっていたのですが、その後登録件数が増加するにつれ右肩上がりでも推移している状

況が確認されます。直近の2009年7月の利用実績によれば、簡略レコードの検出件数は16000件弱、ダウンロード件数は16000件強となっており、リポジトリの利用が確実に定着し始めた様子をうかがわせています。

また、2008年秋に行った附属図書館に関する利用者アンケートによれば、学類生は「知らない・使ったことがない」の比率が圧倒的に高いのですが、大学院生や教職員は一定の利用が確認されます。ただし、よく利用する大学院生のなかには必ずしも満足していないと回答した学生も含まれており、今後さらにその原因を調べて見る必要があります。

FUKUROは大きく羽ばたきを始めております。さらに羽ばたきを確固たるものにするために学内外の皆さまの積極的な利活用をお願いし、筆をおくことにいたします。

## カウンターの内側から

経済学研究科 2年次 飯沼 雄太

私は大学附属図書館のアルバイトとして、業務は平日の夜間や土日祝日のみであるが、多くの方と触れ合う機会に恵まれている。そのため図書館の利用者層と利用目的に関心を抱いた。当然、学生の利用者が最も多く、続いて学外から（近所の方、地元の小中高校の教員の方、あるいは卒業生等）の利用者、そして大学の教員が最も少ない。学生の大半は図書や雑誌が目的であるが、パソコンを利用する方、勉強や会議の場所を求め方、気まぐれで立ち寄った方等、図書や資料以外を目的とする方も中々多い。学外者は、九分九厘、図書や資料が目的である。そして教員は研究資料を得るために利用する。これが本来の図書館の業務目的であり、その延長として、学生や学外者への図書や空間の提供を行っていると感じた。しかし考えてみれば、これは当然の結果だと気がついた。研究活動も含め教員への協力・貢献を行うことは図書館業務において、最低限のものであるため、それ以上のサービスを行おうと考えた場合、学生や学外者を対象とした、図書・資料の提供以外の部分において、図書館を有効活用してもら

ことは、大学側にとっては当然の義務だと気がついた。仮に館内には所蔵されていない純粋に図書や資料を提供しなければならない場合、他の図書館との相互貸借や文献複写等を行い、提供している。それを通じて、図書館間、ひいては大学間の連携・協力関係の構築を担っていると感じた。附属図書館は館内、大学内に留まらず、広域で多様なサービスを行っており、私は業務を通じて、微力ながら、それに尽力していることを誇りに思う。



## 図書館新着情報

## 利用者サービスチーム

### ●「シラバス掲載参考図書」が貸出できるようになりました！

■貸出期間：2日間（1泊2日）

■一部貸出できない資料と期間があります。「図書閲覧申込書」による当日のみの持ち出しでご利用下さい。

- ・「禁帯出」ラベル付きの図書
- ・視聴覚資料
- ・試験期間の4週間前から終了までの期間

### ●電子ジャーナルが「OPAC」(蔵書検索)で検索できるようになりました！

<http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/webopac/>

◎書名 / 出版社に含まれる単語、ISSN で検索できます！

○「資料種別」を「雑誌」「電子」で限定しての検索がオススメ！ 本学所蔵の雑誌をもれなくチェックできます。

△検索結果→詳細画面の URL への接続は学内 PC から行って下さい（オープンアクセス誌への接続は学外からも可能です）。

### ●学習・研究を強力にサポート！新しいデータベースが登場しました！！

図書館ホームページの「情報探索ポータル」(<http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/joho/joho.html>)からリンクしています。キャンパス内のパソコンからアクセスしてご利用下さい。

#### ■ JapanKnowledge (ジャパン・ナレッジ)

『日本大百科全書(ニッポニカ)』をはじめ複数の辞典・辞書を調べることができます。予備調査にオススメです♪

👉 詳しくは別刷第 10 号 p.4

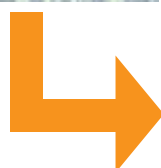
“JapanKnowledge” をご覧下さい。

#### ■ EconLit (エコノリット)

経済学系の文献データベース。雑誌論文記事だけではなく、書籍、専門誌や学位論文、ワーキングペーパー等も収録しています。

#### ■ MathSciNet (マサイネット)

数学文献データベース。雑誌論文・書籍・会議録等の書誌及び抄録を、1940 年から検索できます。





# 利用者アンケート集計結果 (ダイジェスト)

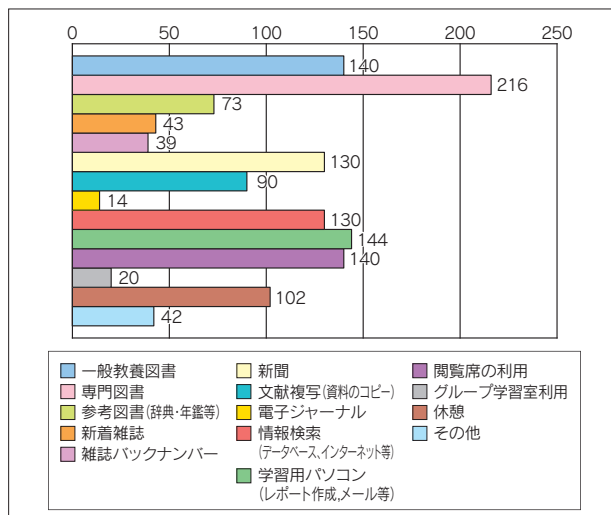
学術情報部門 専門役 小椋 正行

附属図書館では、図書館の利用状況を把握し、今後の図書館サービスの改善に向けた参考とするために、平成20年11月26日～12月10日までの期間で利用者アンケートを実施しました。以下概要を報告いたします。

なお、意見や要望は、数多く出されていきましたので、類似のものを大括りにまとめています。

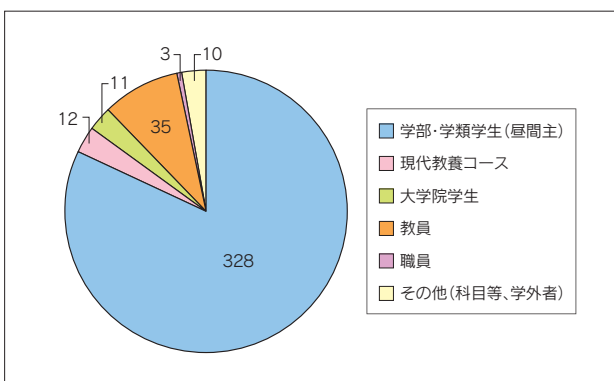
集計結果の詳細については、ホームページ (<http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/>) に掲載予定です。

(3)あなたが図書館を利用する目的は何ですか。頻度の高いものを記入してください。(複数回答可)

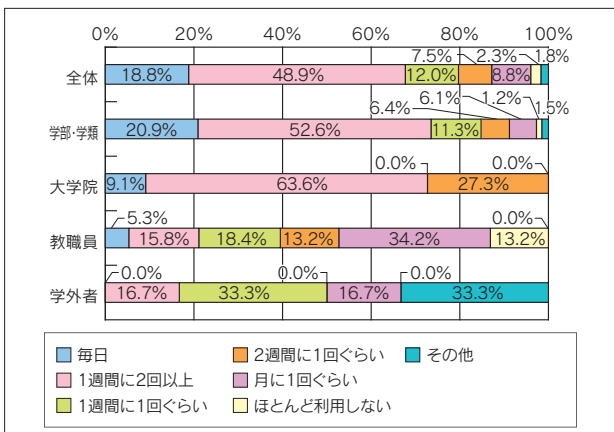


## 1. 基本的事項について

(1)回答者の内訳(回答者数399名)

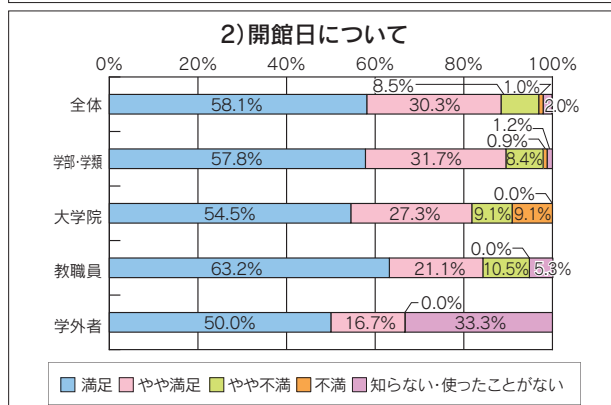
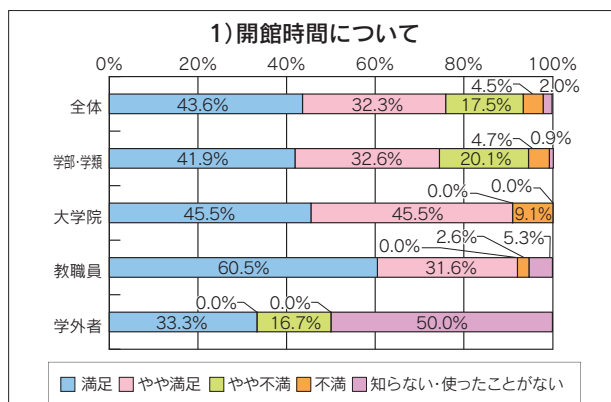


(2)あなたは、図書館をどの程度利用していますか。



## 2. 利用サービスについて

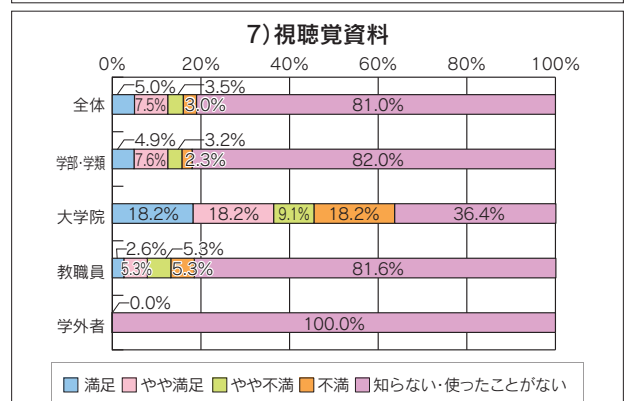
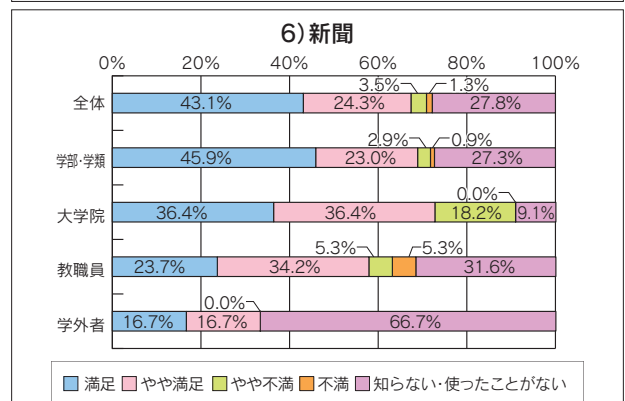
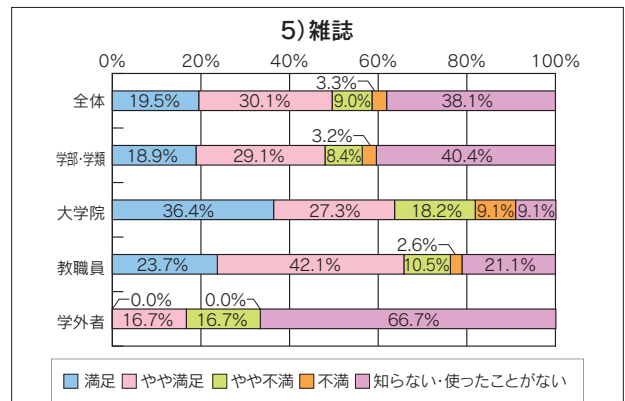
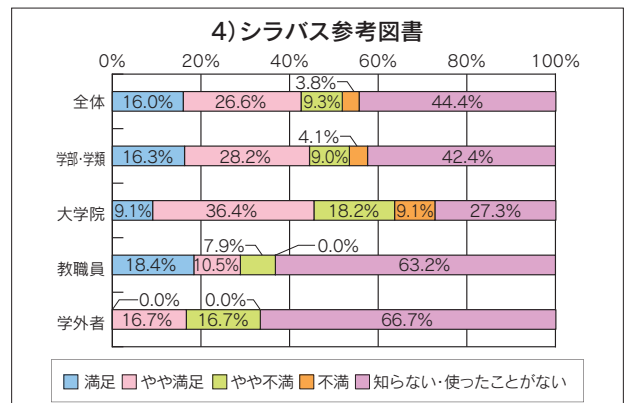
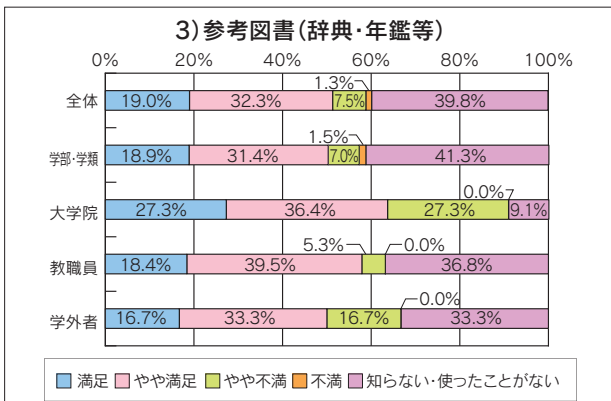
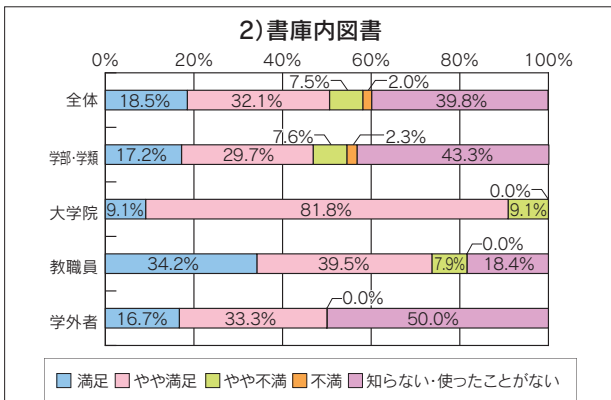
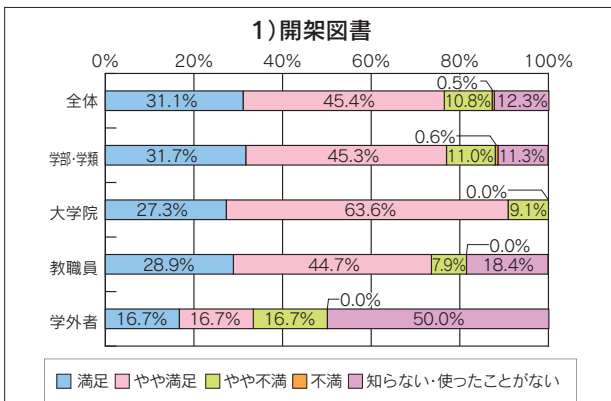
(4)あなたは、図書館の開館時間・開館日についてどう思いますか。

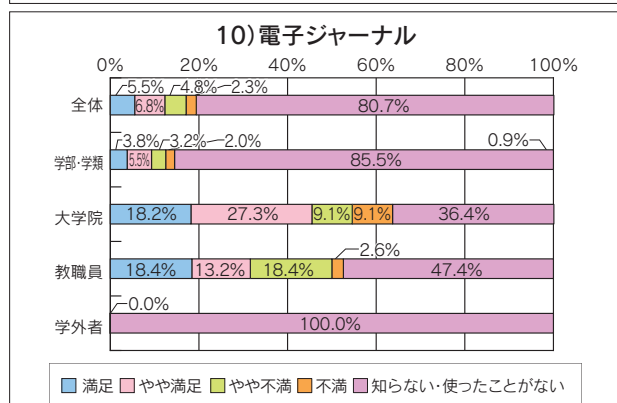
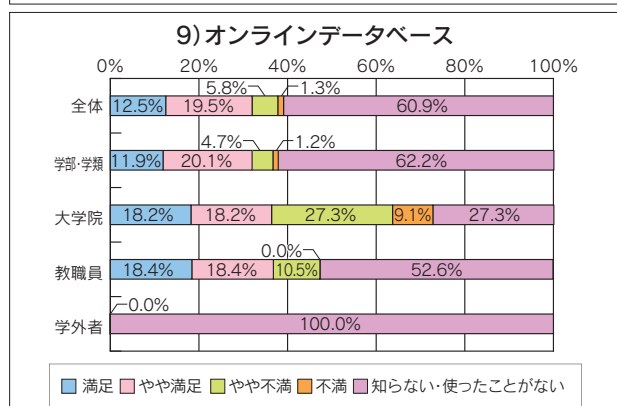
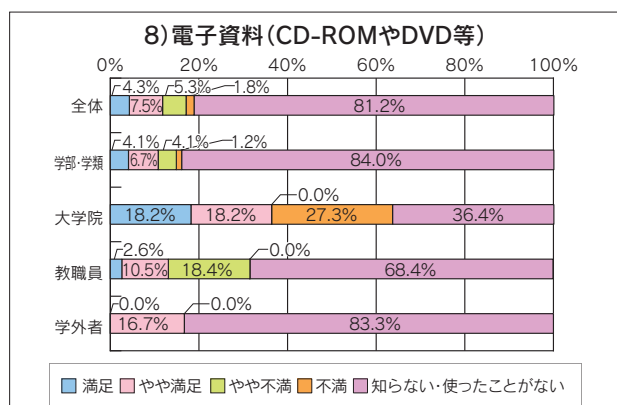


3)意見・要望等

- ・今のままで十分です。
- ・夜遅くまで開館しているのがありがたいです。
- ・開館時間・日が、より長くなると良い。
- ・授業や電車の時間に合わせてほしい。
- ・24時間開館してほしい。
- ・日曜日って10時からですよ?できれば9時ぐらいからやってもらえると嬉しいです。
- ・社会人が授業期間以外の夜間を利用できない。
- ・休日開館もあり、すばらしいと思います。
- ・連休や年末年始も勉強できるよう、開館してほしい。

(5)あなたは、どの資料を利用したことがありますか。その資料を使って満足できましたか。



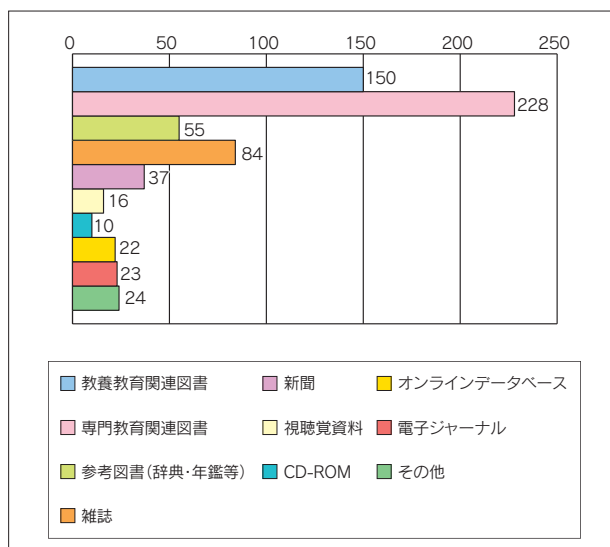


### 11) 意見・要望等

- ・行政関連(行政法、地方自治法等)の本をもっと充実させて欲しい。
- ・教育関係の資料や本が古い。
- ・小説が少ないので、種類を増やして欲しい。
- ・学習参考図書の充実。
- ・研究室で止まっている図書が多いと思う。複数冊用意するなどを要望。
- ・雑誌に関してもっと幅広い分野の雑誌をおいてほしい。
- ・雑誌のバックナンバーのかしだしができるようにしてほしい・・・。
- ・理工専門書が少しずつ増えていてありがたい。学会誌が置いてあるとうれしいです。
- ・シラバス参考図書も一部でいいので貸出して欲しい。
- ・外国の新聞(欧米の)が極端に少ない。ウェブでは過去のARCHIVEは有料。

- ・専門書をもっと増やしてほしい。
- ・電子資料をもう少し充実させてください。
- ・Google Scholarからリンクができるようにしてほしい。
- ・書庫にもっと手軽に入りたい。(シラバス参考図書)貸出して欲しい。もしくはコピー無料(オンラインデータベース)、探しばらい。

### (6) あなたは、図書館資料のうち、次のどれを充実すべきだと思いますか。(複数回答可)



#### □ その他

- ・現状維持でいいと思う。
- ・話題の本をもっと入れてほしい。
- ・「一般的な」小説。ライトノベルも含めて、売れ筋のものを入れて欲しい。
- ・講義で教員が進めるような本、法律関係の新しい本。
- ・雑誌は分野に偏りがないように。

#### □ 特に充実してほしい分野

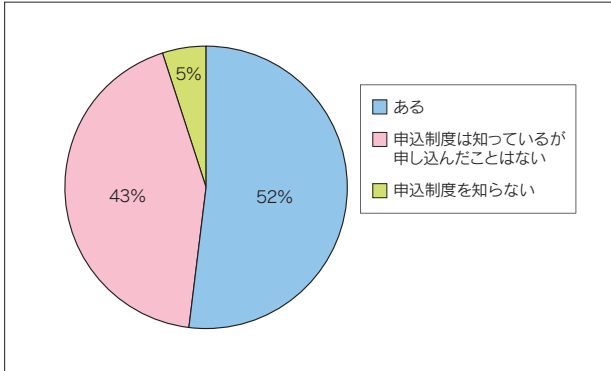
- ・児童図書が少ない。
- ・心理学
- ・世界史・社会保障
- ・国際情報分野
- ・高齢者の就業や雇用制度についての本
- ・社会科教育学
- ・教育・生活指導
- ・保育についての本(新しいもの)
- ・今3年なので、秋過ぎ位から就活本などあれば助かります。
- ・特別支援教育の新しい書籍を。
- ・服装、文化、民族
- ・理系分野以上
- ・数学関連
- ・自然地理、都道府県別の資料
- ・医学系
- ・色彩



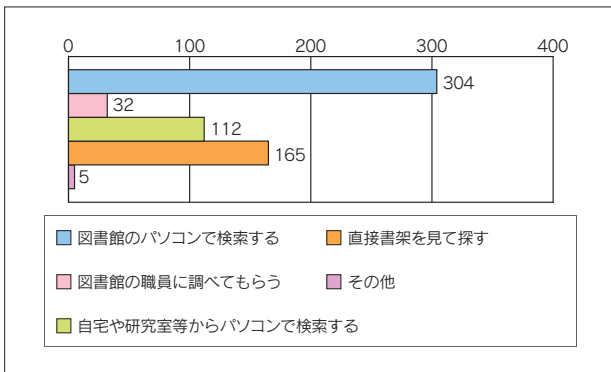
(12)

- ・スポーツ関係、ビジネス誌、書庫も!
- ・新TOEIC対策関連の本
- ・日本文学、日本語学関係のテキスト(原典)類
- ・最近の学術新書を置くべきだと思う。
- ・財務データ、新聞雑誌記事検索
- ・大学教授お勧めの本(生協内で売ってるもの)

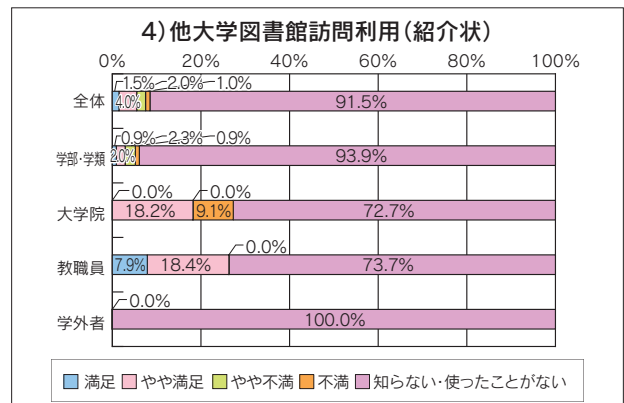
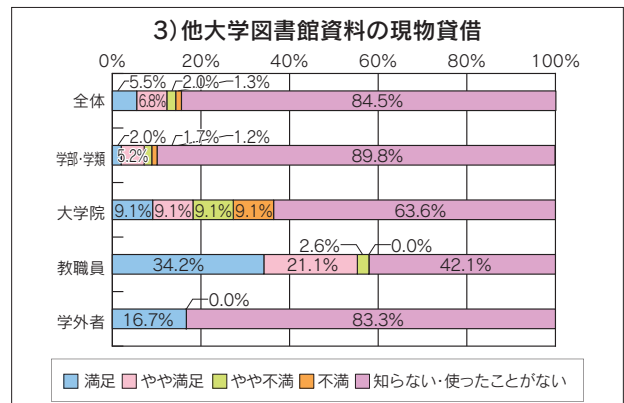
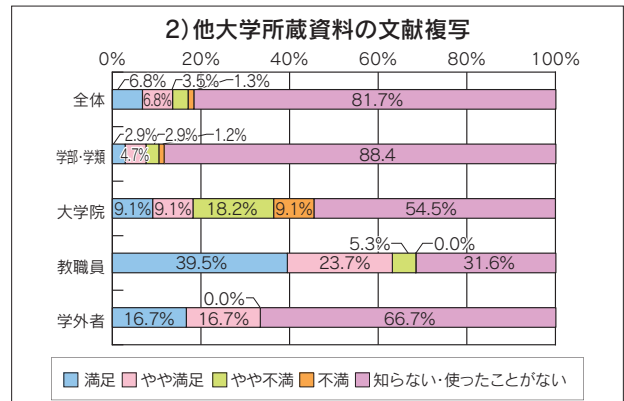
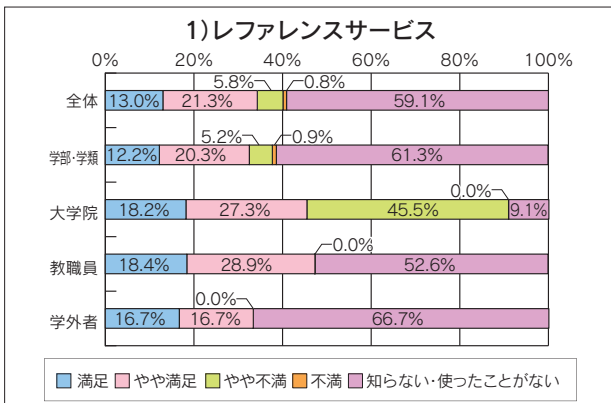
(7)あなたは、今までに学生用図書のリクエスト(購入希望)を行ったことがありますか。



(9)あなたは、利用したい資料をどのようにして検索しますか。(複数回答可)



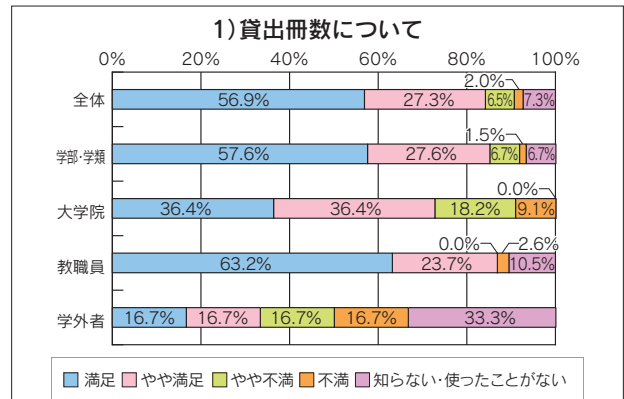
(10)あなたは、次の図書館サービスを利用したことがありますか。そのサービスに満足できましたか。

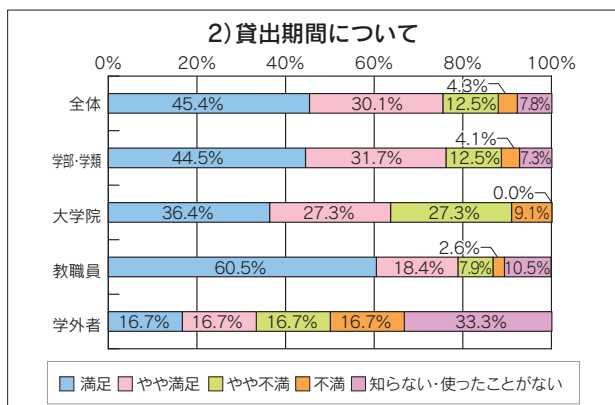


5)意見・要望等

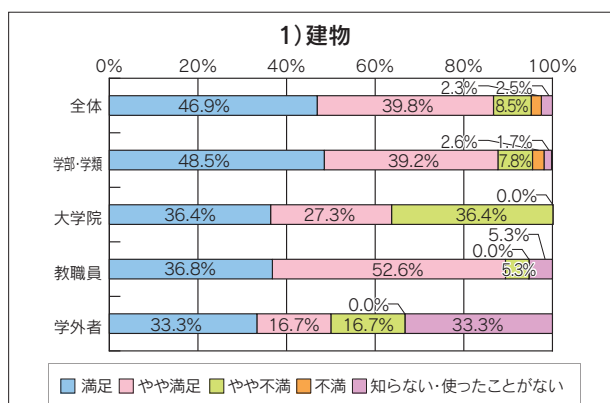
- ・現物貸借が高い。
- ・そのようなサービスがあることを初めて知りました。
- ・ウェブから文献複写や現物貸借する際の情報システム(インターフェース)が使いづらいです。

(11)あなたは、図書館の貸出条件についてどう思いますか。





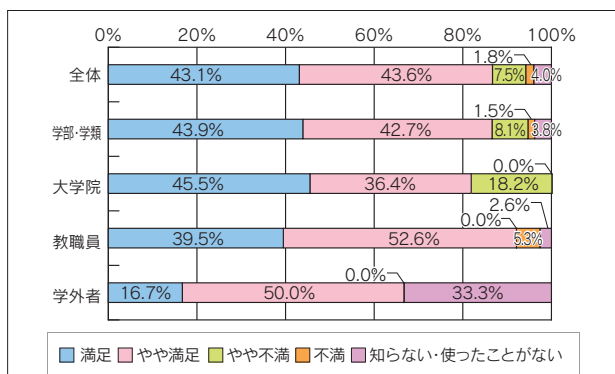
(13)あなたは、図書館の利用環境(施設・設備等)についてどう思いますか。



3)意見・要望等

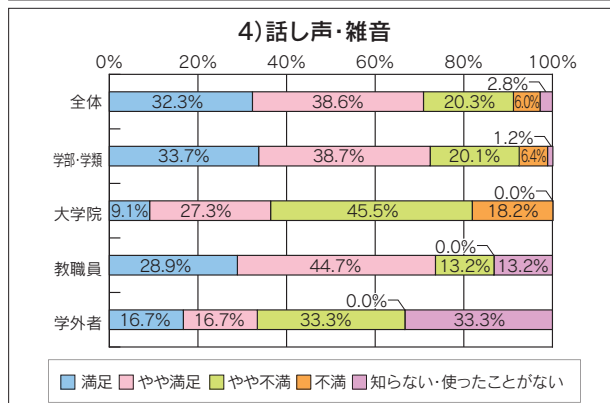
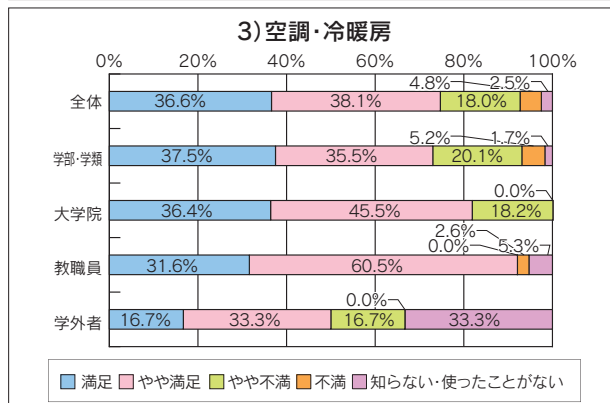
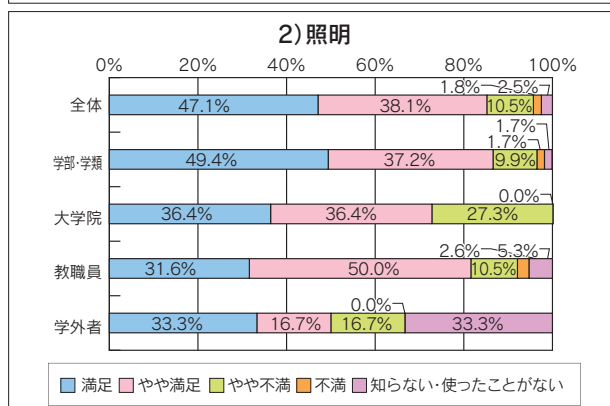
- ・自動貸出返却装置では扱うことのできない図書があるのでそこを改善していただけたらと思います。
- ・予約待ちのときにパソコン上で、いつまで借りれるのか表示して欲しい。
- ・学生はレポートや研究のために長期間本を借りたい人も多いので、もう少し予め貸出期間を長くしていただけると返却日も守りやすいのではないかと思います。
- ・もう少し長く貸して欲しい時があります。事前におけば延長してくれる仕組みなどがあれば嬉しいです。また、延長する時、現物を持ってこなければいけないのは、重い本などの時面倒なので、発行されたレシートを使えばできる、というようにならないでしょうか？
- ・貸出期間がいくつか(自分で)選択できたらよい。
- ・卒論に関するものは期間を長くしてほしい。
- ・学外者に冷たい、冊数・期間ともに改善をお願いします。
- ・むしろ多すぎ、長すぎではないか。

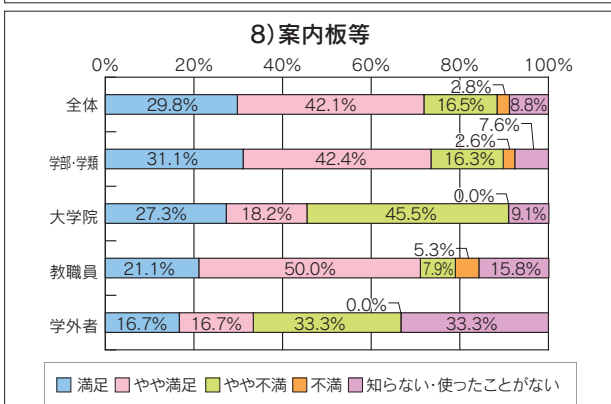
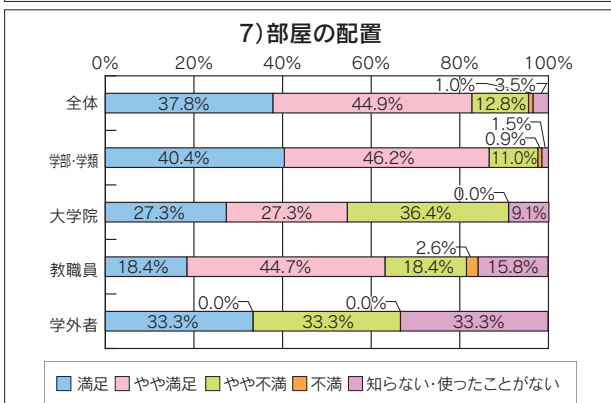
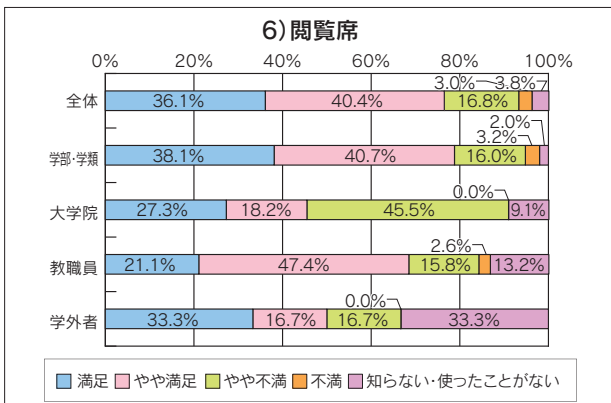
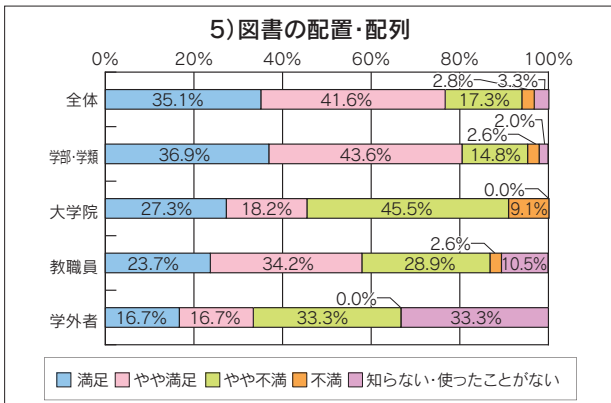
(12)あなたは、図書館の職員の対応についてどう思いますか。



2)意見・要望等

- ・昼休みをずらしてほしい。休み時間に利用できない。
- ・カウンターでの話し声が気になる時があります。
- ・ちょっと話しかけにくい時があります。
- ・特になし、親切な方ばかりなので、今のままで良いかと。
- ・院生のほうがとても丁寧に接してくれてうれしかった。



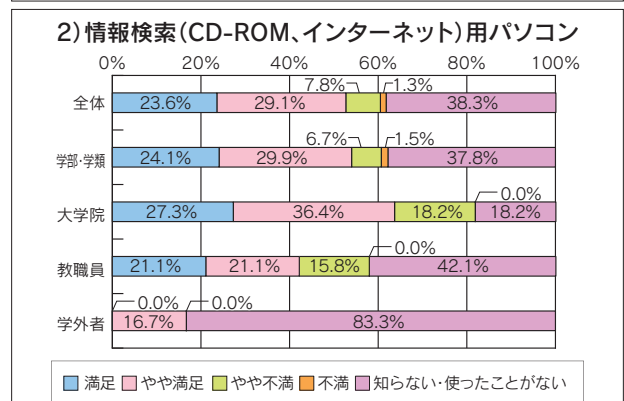
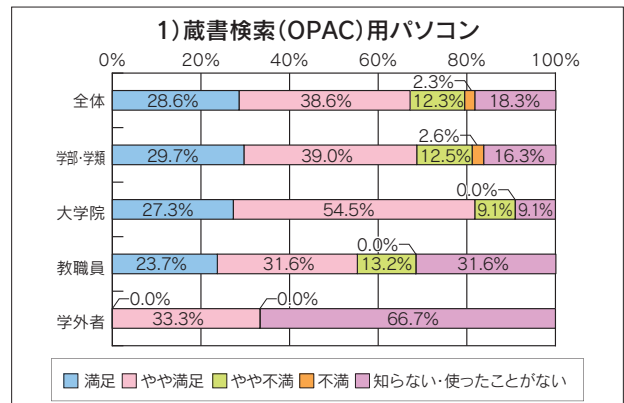


9) 意見・要望等

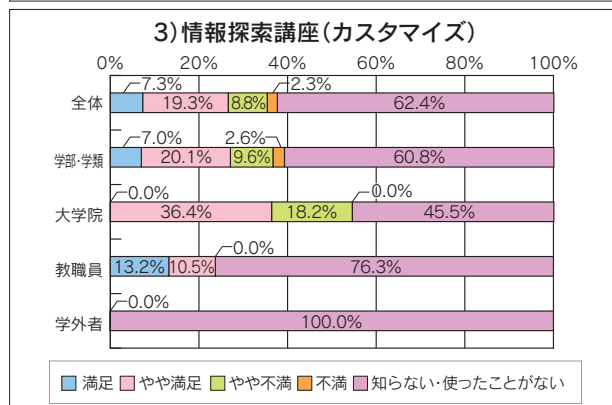
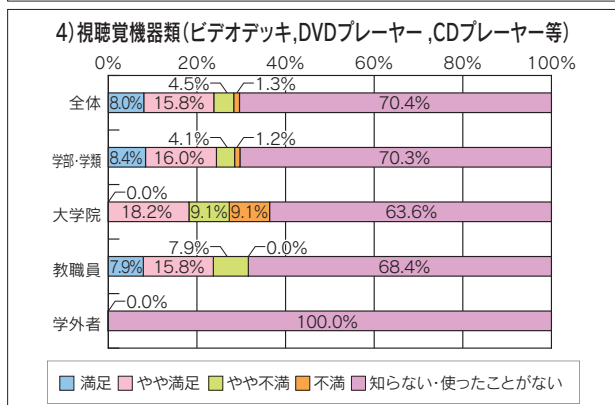
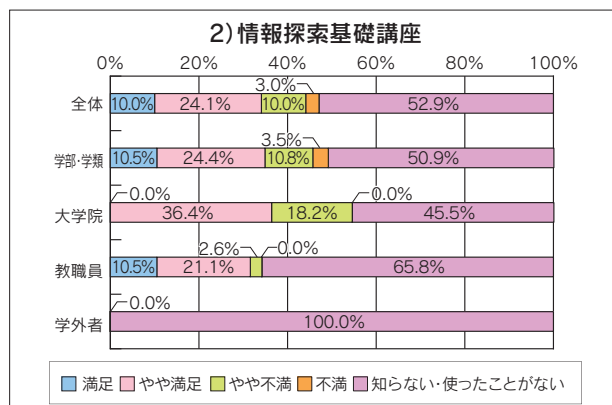
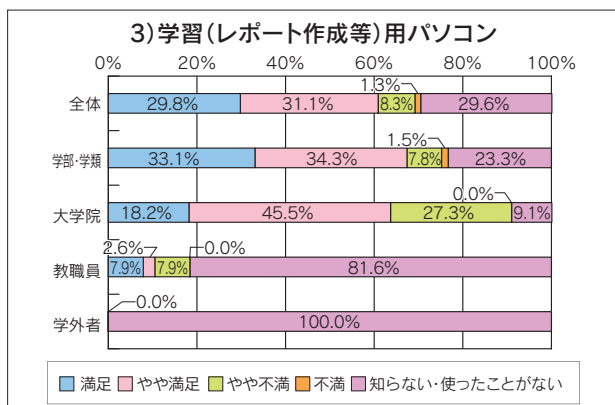
- ・パソコンをもう少し増やしてほしいです。
- ・できれば自動販売機をもっと増やしてほしい。ペットボトル、缶の入った自動販売機。

- ・飲料水の給水器があればいい、と思っています。
- ・席を増やして欲しい（昼などに来るとすべて使われている）本人がいないのに荷物を置いて長時間に渡って席を確保するのを禁止して欲しい。
- ・東京の大学のように学習席に個別に蛍光灯をつけて欲しい。
- ・閲覧室2Fからマルチメディア室へ行きたいときなど、いちいち1Fへ降りてまた上らなければならぬめんどくさい。2Fの行き来をしやすくしてほしい。
- ・2Fへ向かう階段（両方とも）が踊り場もなく急な勾配で、危険を感じることもある。
- ・エレベーターが欲しい。
- ・共同学習室は、もう少しせまくてもいいので、数を増やしてほしい。
- ・階段（開架2階への）の足音が気になるのでカーペットを張るなどしてほしい。
- ・L棟・M棟などのトイレがキレイになった分、図書館のトイレが相対的にくらくてせまいように思います。
- ・トイレを設備的にキレイにして欲しい。
- ・2階の留学生交流室での話し声が響いて、近くの席で集中できないときがあるので改善して欲しいです。
- ・どこに何があるかわかりにくいので、もう少し詳細な案内図を作って欲しい。
- ・温度調節をしっかりして欲しい。暑すぎ、寒すぎ。
- ・乾燥しているので、目が乾きやすいし、ノドがカラカラする。

(14) あなたは、図書館の情報機器・視聴覚機器についてどう思いますか。



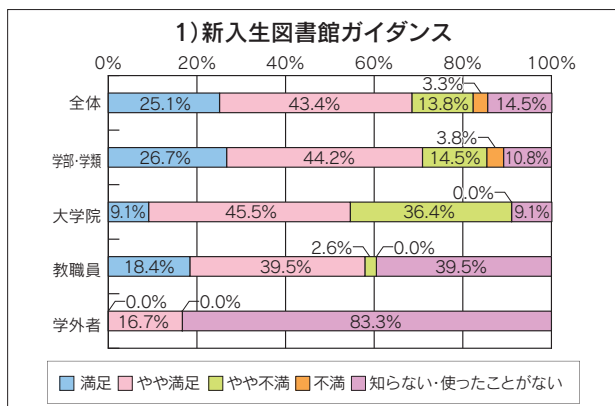




5) 意見・要望等

- ・遊んでいる人を注意してほしい(youtubeなどで)
- ・検索の仕方がよく分からない。
- ・論文検索はレポート作成に大いに役立ちますが、試験期間などは混むので、さらに多いと助かります。
- ・蔵書検索用パソコンのホイールが使いづらい。上にスクロールしようとしても、なぜか画面は下に動いてしまう。
- ・パソコンのプリンタ増やして欲しい。
- ・今年から、1階にもパソコンが増えて便利になったと思う。
- ・AVルームのテレビ前のスペースがせまい。
- ・視聴覚機器類の利用手続きがめんどくさい。

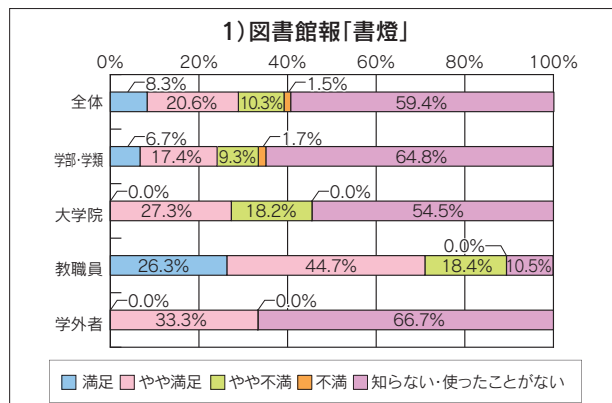
(15)あなたは、図書館利用ガイダンスについてどう思いますか。

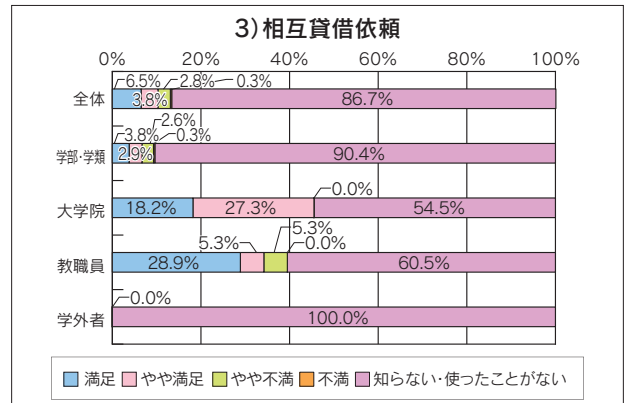
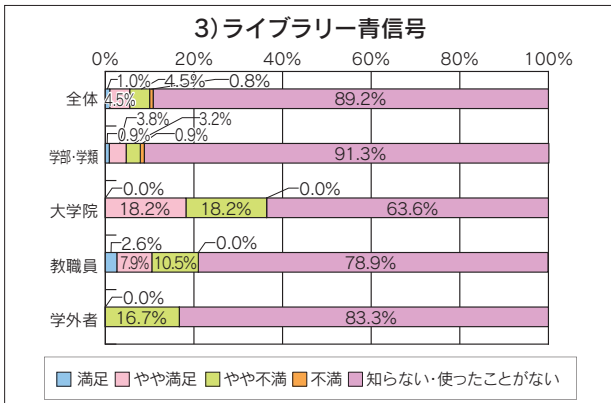
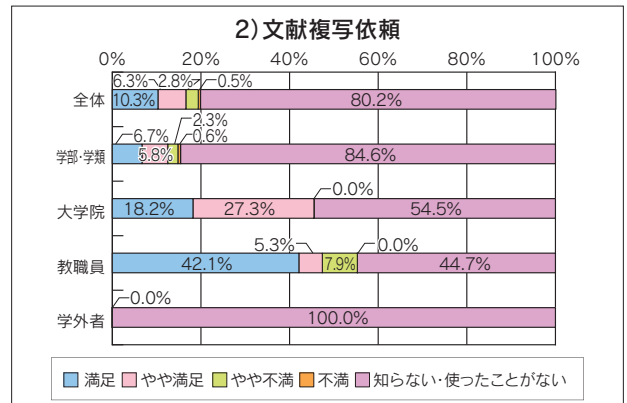
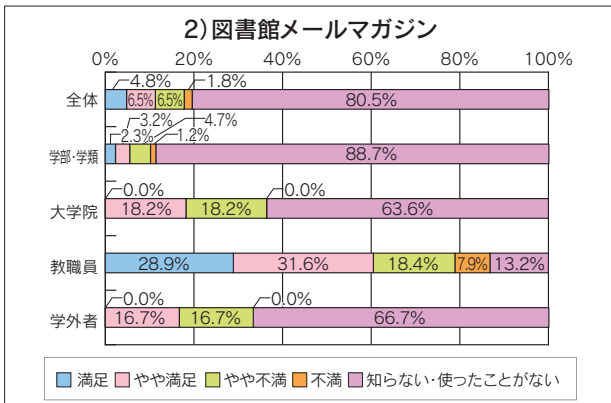


4) 意見・要望等

- ・自分のとき(新入生図書館ガイダンス)が7月だったので不便でした。可能な限り早くしてほしいです。
- ・入学したばかりの頃にガイダンスをやっても、まだ図書館を使う頻度が少なく、あまり身にならなかった気がする。
- ・講座は役立つので、卒論にとりかかる前の3年生などが利用しやすいよう、もっとアピールすべきだと思います。
- ・2・3年生の図書館ガイダンスをしてほしい。1回参加しただけではよくわからなかった。
- ・希望を募って不定期的に又してほしい。
- ・科目履修生にガイダンスはありませんでした。

(16)あなたは、図書館の広報誌を知っていますか。読んでいかがでしたか。



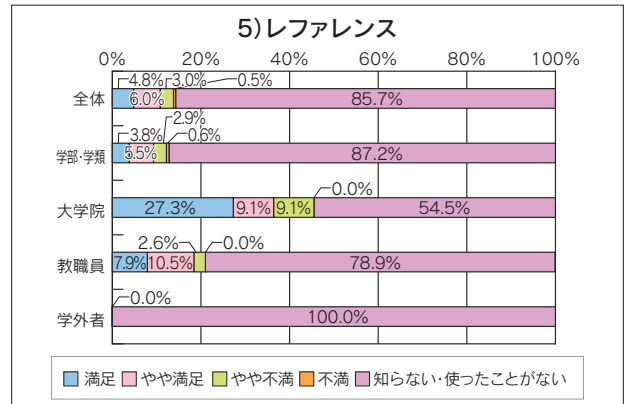
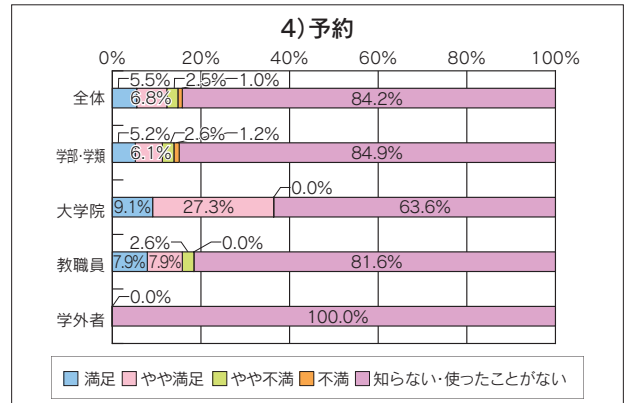
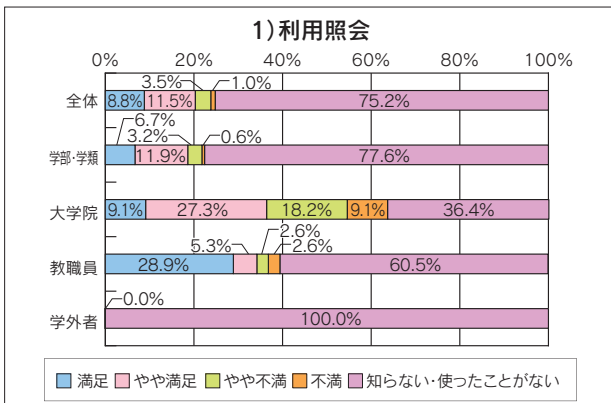


#### 4) 意見・要望等

- ・図書館だけでなく、学食など人の多いところに広報を置いたほうが手取りやすいと思います。
- ・知っているが、特に面白そうではない。
- ・思いもよらない情報を得ることもあるので、続けてあるとよい。
- ・書燈、メールマガジンは電子掲示で充分。

### 3. ネットワーク等を利用した図書館サービスについて

(17)あなたは、図書館で提供しているオンライン・サービスを利用しましたか。利用していかがでしたか。



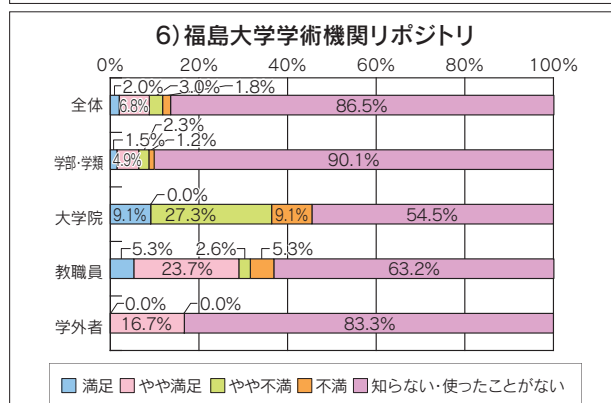
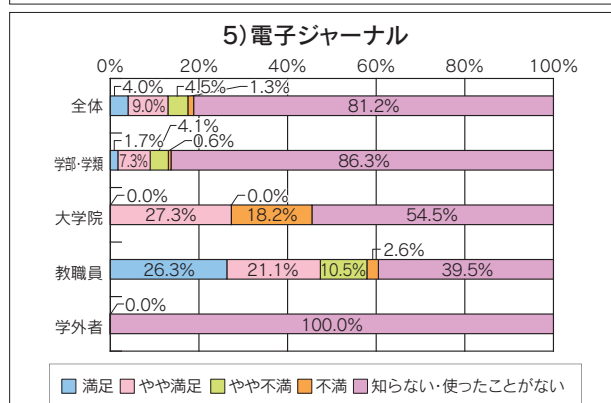
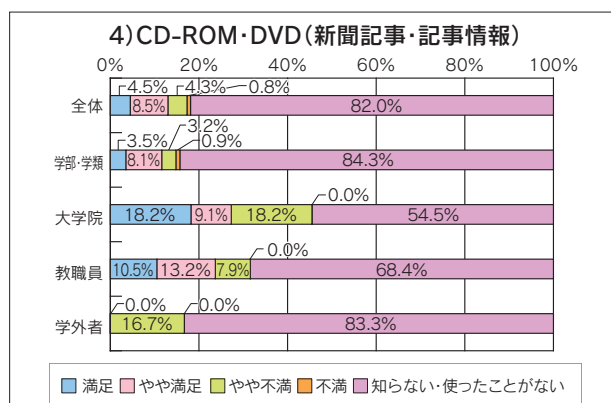
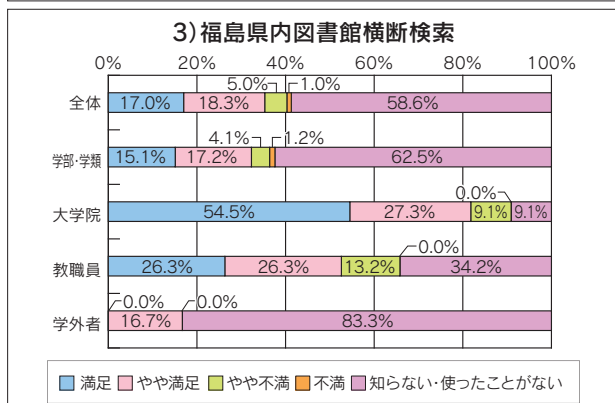
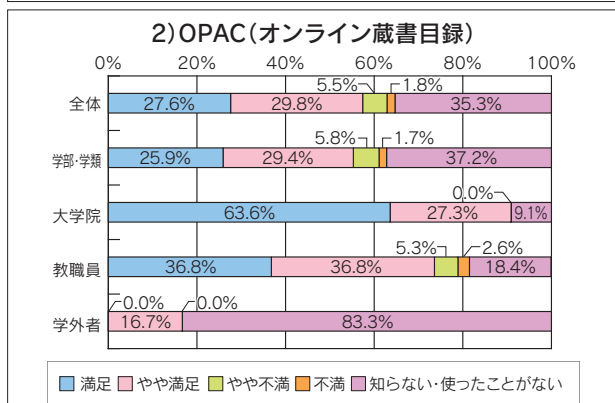
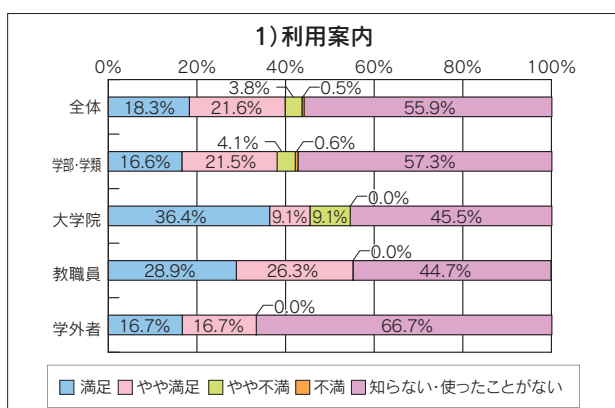
#### 6) 意見・要望等

- ・現在貸出中の本を、蔵書検索のパソコンから予約できない。
- ・自分で調べても分からなかったからレファレンス

を頼んだのに、調べたことの調べ方を解説されて困った。どの程度まで調べたのか、相手がどの程度の知識を持っているのか調べた(きいた)上で回答して欲しい。

- PCからアクセスすると利用照会がよくエラーが出てできず、なぜかPCから携帯用アドでアクセスするとログインがいつでも可能であるので、PC版のほうを何とかして欲しい。
- 利用のしかたがわからない。

(18)あなたは、図書館のホームページで提供している、以下のサービスを利用したことがありますか。利用して満足しましたか。

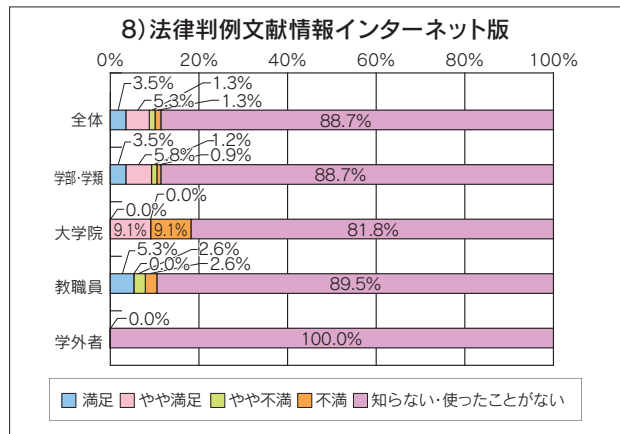
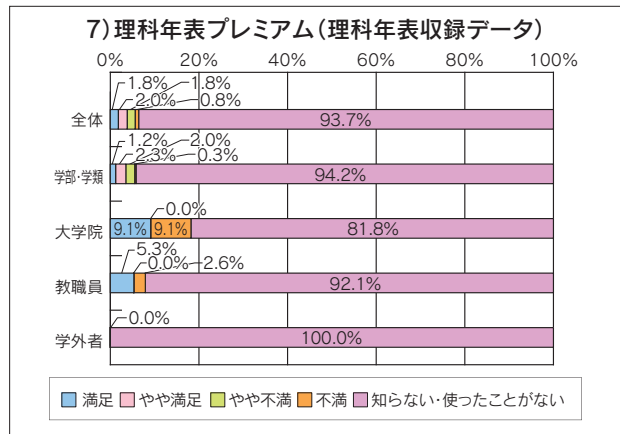
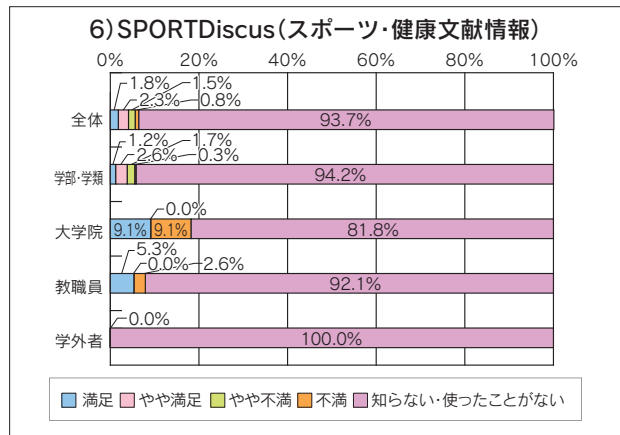
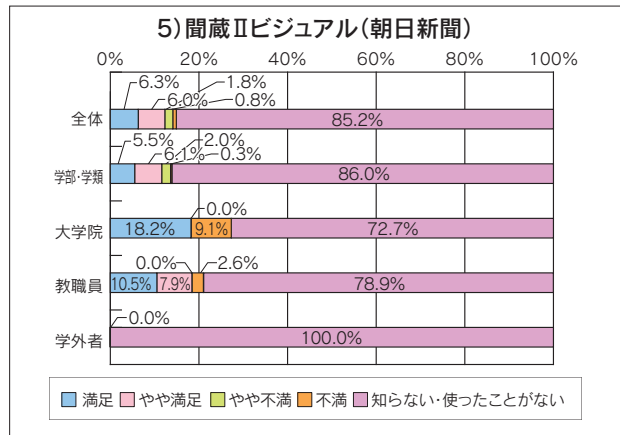
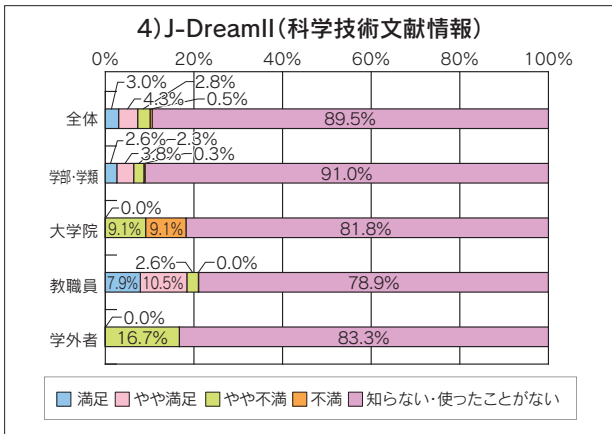
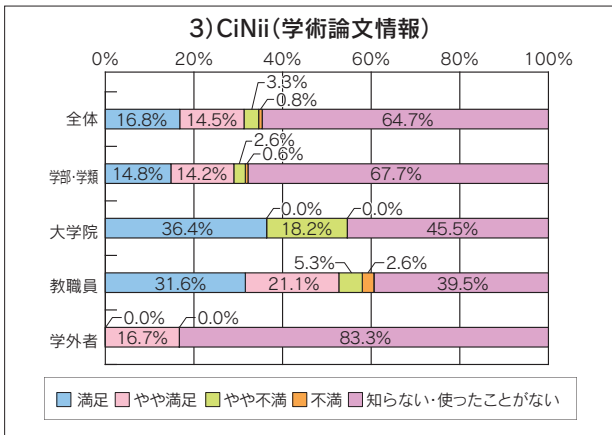
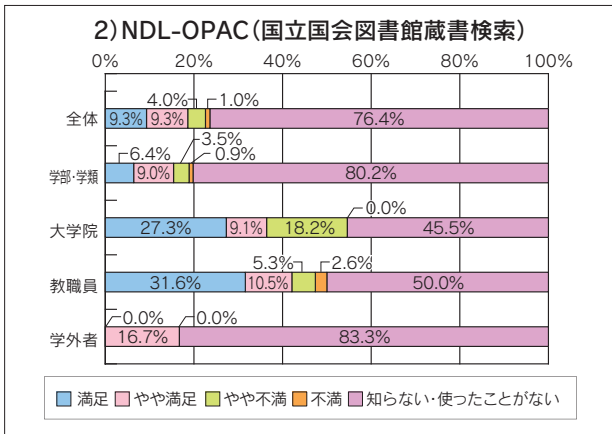
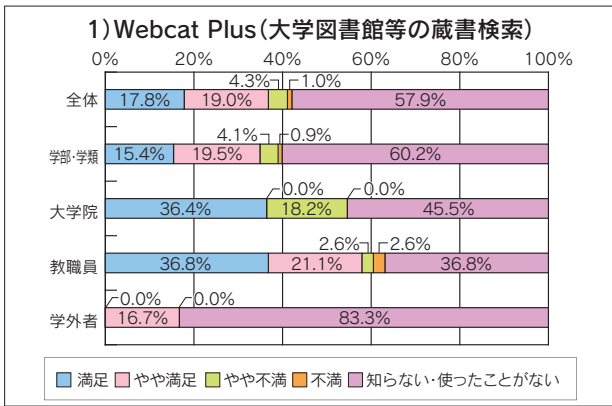


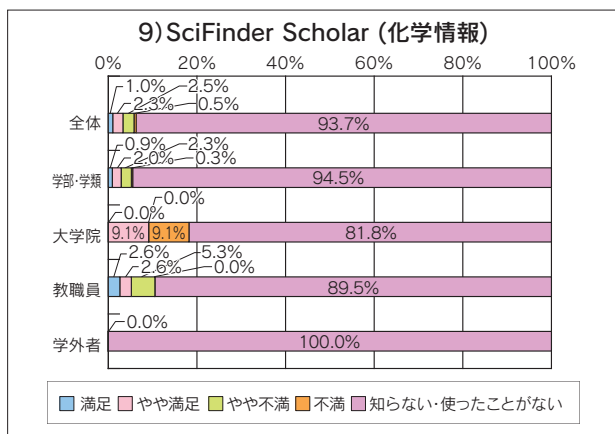
7) 意見・要望等

- リポジトリが不足していると思います。
- 福大のOPACは使いにくい。ブラウザの戻るを使いたい。
- 横断検索の動作が遅すぎる。
- 自分の論文について、要約のみの公開etc選択可能であれば良い。

(19)あなたは、図書館ホームページの「学術探索ポータル」で提供している、以下のサービスを利用したことがありますか。利用して満足しましたか。



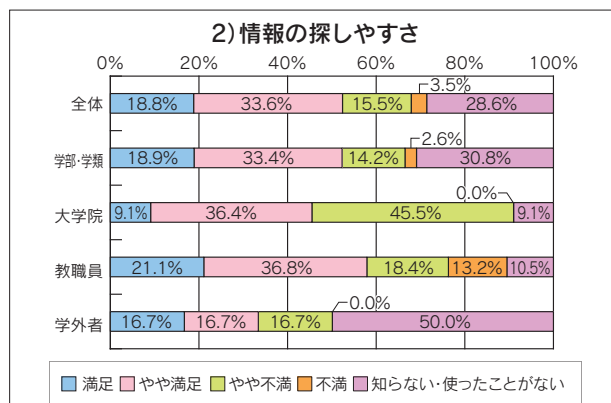
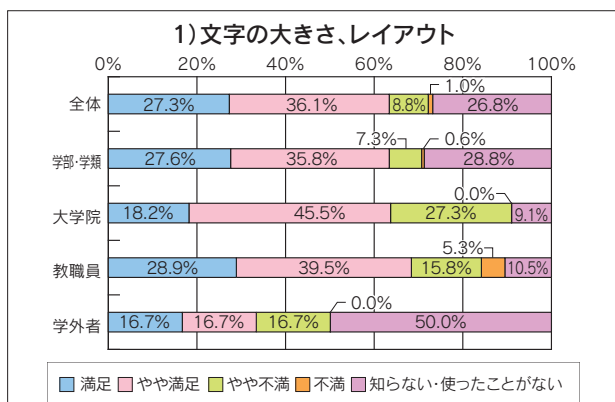




### 10) 意見・要望等

- 論文検索で医学系の論文も読めるようにしてほしい。
- 基本的にOPACの利用が多いです。その他はよくわかりません。
- サービス自体を知らなかった。どんなサービスなのか知る機会があれば、利用したかった。
- Webcat Plusで検索しても、福大の図書館にない場合が多い。
- 閲覧が2人までっていうのはちょっと困る。料金がばか高いのでしょくないが、もう少し増やしてほしい。
- TIMEやNews Weekなど英文雑誌データベースも利用してみたいです。
- こんなに便利な機能があったんだ!! 1年のときにはわからないけど、必要がでてくる2・3年にもう一度ガイダンスやれば意識が高くてよい時間になるだろうな。
- SciFinder Scholarは使ってみたいのですが、いまいちよくわかりません。今後図書館主催の説明会に参加します。
- 経営系の探索があると良い。

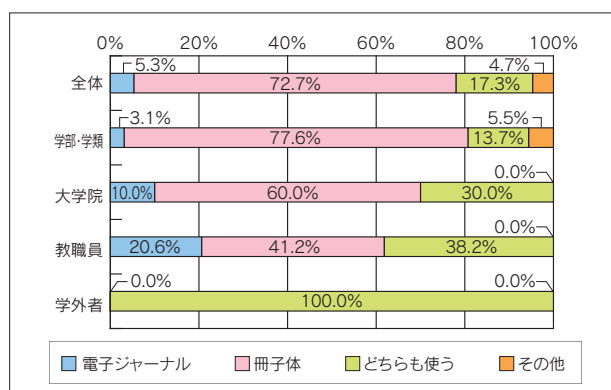
### (20) 図書館ホームページの使いやすさはいかがですか。



### 3) 意見・要望等

- 履修登録をすることもあるので教務課(ユニパ)に飛びやすいと助かります。(期間中にだけでも目立たせてくれたり)
- レイアウトが見づらい。文字が小さい。もっとすっきりさせればよいのに、いつも思う。
- それぞれ個別の図書の揭示を開かなくても、貸出中か一目で分かるようにしてほしい。→市立図書館みたいに。

### (21) 雑誌の利用に関して、あなたは電子ジャーナルと冊子体のどちらを利用していますか。



### (22) 図書館サービス全般について、ご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。

- マルチメディア室のプリンタ新しいのにしてください。
- レポート作成のPCが台数少ない。
- このアンケートによって、自分が使ったことがないサービスがたくさんあることがわかりました。それから、それらをうまく利用していきたいと思えます。
- とても落ち着ける場所だし、遅くまで開館していて嬉しいです。休日も開いていることが多いので本当に助かります。居心地バツグンです。職員の方々、毎日大変だとは思いますが、頑張ってくださいね。お疲れ様です。このような機会(アンケート)があるのはとてもいいことだと思います。意見を述べる場を作っていただき、どうもありがとうございました。
- いつもありがとうございます。目安箱が設置され、活発に利

- 用者とのやり取りが行われていてとてもいいと思います。
- 電子ジャーナルはPDFファイルとして保存できるので、あとで再度コピーすることが容易で使いやすい。電子化されていないジャーナルのみCOPYしに図書館へ行く。
  - 閲覧室において、荷物を置いたまま長時間離席する人がおりますが、(長い人は2~3時間も)試験期間など混雑するときは、特に気になります。(空席がない)「席取り」の気持ちもわからないわけではないのですが、「みんなの図書館」の精神からは、少し外れていると思います。何か、効果的な対策はないか、といつも思っております。
  - 閉館時刻は、利用者が利用可能な制限時刻を指すのではないか。そうだとしたら、職員側の都合もあると思うが、あまり早々に閉館準備にとりかかれると私たちは利用しにくい。できるだけ長く図書館を利用して欲しい。
  - <開館時間について>学生は夜型(夜に勉強やレポートをする)が多いので、夜の開館時間をもっと延長して欲しいです。特に日・祝日や長期休業中は、図書館しか勉強できる場所がないので、よろしくお願いします。
  - 研究室貸出中が多すぎます。先生方はすぐ返却しないでしょうか?研究室で必要なら複本を増やして開架で学生も借りられるようにして欲しい。貸出中で1年も過ぎて返されていない図書も多い!暇にまかせてカウンター業務でチェックして、教務や学生課を通して呼び出しをするべき。図書館だけで催促しても効果ないと思う。
  - 配架マップのコピー(印刷)ができたらいいと思います。
  - 全体的に施設が少ない。需要に対して供給が少ない。
  - 学生の中にも一般利用の方にも車椅子を利用する人がいます。一般の方ですと高齢の方もいます。2階や階下の書架を利用したくてもできないのはとても不便だと思います。ぜひともエレベーターをつけてください。
  - 質問項目に関して、特に後半は利用したことがないものばかりだった。館内に4つあるトイレについて、暖房便座の導入などの設備の改良もしくはトイレ自体を新しくしてほしい。
  - シラバス参考図書というとてもよいコーナーがあるのに貸出で

- きないのはもったいないと思います。たしかにみんなが見れるようにするのは必要なことと思うのでシラバス参考図書にある本は2冊購入し、1冊は開架に置くなどの対策をお願いします。
- とにかく新書が読みたいんですけど、学生なのでお金なくて。なので、できればいろんな新書を入れてもらえるとうれしいです。あと、こういった学生とかにアンケートとるのは大切だと思います。
  - 閲覧室の雑誌を、今月のだけでなく、過去5年分位ほしい。すぐみたいのにわざわざ手続きが必要なのは、読む気をなくさせてしまう。雑誌のうしろの保管棚になぜ置かないのかわからない。
  - DVDをみるところは、すごく便利!!もっとDVDふやしてほしい。その前に便利さを学生に訴える!
  - 理系の自然分野の本をもっと増やしてほしい。あまり難しすぎない本がいい。
  - 電子ジャーナルは、学生を含めた研究活動に大変役立っているの、今後もぜひ充実に努めてほしい。
  - 2階で話ばかりしている人がいて、非常に迷惑なので定期的に見回りに来て欲しい。そしてちゃんと注意して欲しい。飲食よりも私語のほうがはるかに迷惑。
  - (持ち込んだ)パソコンのキーボードと電卓を使っている人がいるのですが、たたく音がうるさいので、パソコンと電卓は使用禁止にしてほしいです。
  - 開館前や閉館後に掃除はできないのでしょうか。集中しているときに掃除機をかけられるとイライラしてしまいます。掃除をしている人も何の言葉もなく座っている机やイスの下を掃除機をかけはじめ、平気で置いてある荷物に掃除機をぶつけてくる人がたまにいます。
  - 書籍注文オンライン・サービスの利用方法が複雑で利用しにくいと思います。
  - 細かいことが分からない。1年生のとき、ガイダンスで説明してもらったのですが、よく覚えていないので・・・使用マニュアルなどを目につきやすいところに置いたら利用者が増えると思います(図書館内だけでなく)

## 目次

- 巻頭言「夏の図書館」……………石田 葉月(1)
- 思い出の一冊『アメリカの文学』……………照沼かほる(2)
- 「学びのナビ」コーナー利用のススメ……………板橋 孝幸(3)
- 学内教員著作寄贈図書の紹介
  - 『学校臨床の現場から』……………生島 浩(4)
  - 『抵抗と協働の野生動物保護』……………西崎 伸子(4)
  - 『現代社会を社会心理学で読む』……………飛田 操(4)
- こんなものがあったのか!『紅一点論』……………佐藤 健(5)
- FUKURO(フクロウ)の羽ばたき~福島大学学術機関リポジトリ~……………星野 珙二(6)
- カウンターの内側から……………飯沼 雄太(7)
- 図書館新着情報……………利用者サービスチーム(8)
- 利用者アンケート集計結果報告(ダイジェスト)……………小椋 正行(9~20)